



令和 8 年度神在月文化振興月間の取組について

出雲では、旧暦 10 月（神無月）に全国から八百万の神々がお集まりになり、人々のさまざまな“縁”について会議をされることから、全国で唯一、旧暦の 10 月を「神在月」といいます。

この全国に誇れるブランドである「神在月」に、市民が、出雲文化に自信と誇りを持ち、市外県外に発信することを目的として、『21 世紀出雲「神在月」文化振興条例』を定めています。

本条例に基づき、「神在月文化振興月間」である 10 月及び 11 月に、出雲の魅力为全国へ発信する縁結びプロモーションとして、次のとおりイベントや広報などを展開します。

1 神在月文化振興月間の情報発信について

(1) 神在月ポスターの作成

市内外の公共施設や J R 西日本主要駅等、約 500 か所にポスターを掲出します。

[掲出場所]

○島根県事務所（東京、名古屋、大阪、広島）

○市役所（本庁舎、各行政センター）

○市内コミュニティセンター

○市内公共施設

○市内宿泊施設

○ J R 西日本主要駅

○一畑電車主要駅

○道の駅 など



(2) 神在月大型パネル、懸垂幕、横断幕等の掲出

①大型パネル

〔掲出場所〕 出雲縁結び空港 到着ゲート前



②懸垂幕・横断幕

市役所本庁舎、出雲縁結び空港、市内道の駅に「神在月文化振興月間」の懸垂幕・横断幕を掲出します。



出雲市役所



出雲縁結び空港



道の駅湯の川

③フラッグ・幟旗

駅通りを中心に「神在月 出雲」のフラッグ約50枚を掲出します。
「神在月 出雲」の幟旗を活用し、月間中のイベント等でPRします。



フラッグ小



フラッグ大



幟旗

(3) 神在月文化振興月間ホームページの立ち上げ

出雲市ホームページに「神在月特設サイト」を立ち上げています。

○掲載期間 9月18日～12月4日

○掲載内容 神在月の由縁や、月間中の催し（随時更新）

1 神在月文化振興月間のイベントについて

①芸術文化

【9月10日時点】

新規	イベント	とき	ところ	おたずね
○	虹ヶ滝フォトコンテスト (出雲市市民協働事業)	8月1日(土)～ 11月30日(月)	虹ヶ滝	虹の会 080-5237-5637
	常設展「出雲の原郷展」	9月5日(土)～ 11月8日(日) 9:00～17:00	荒神谷博物館	荒神谷博物館 72-9044
○	岩合光昭写真展 ご当地ねこ	9月5日(土)～ 11月23日(月・祝) 9:00～17:00	平田本陣記念館	文化スポーツ課 21-6514
	ホール展 「かわとフォトクラブ写真展」	9月19日(土)～ 10月19日(月) 9:00～17:00	荒神谷博物館	荒神谷博物館 72-9044
	重谷一甫原画展	10月1日(木)～ 11月23日(月・祝) 9:00～17:00	平田本陣記念館	文化スポーツ課 62-5090
○	ギャラリー展 「出雲のうるし～伝統工芸 の源流を探る～」	10月7日(水)～ 2月8日(月) 9:00～17:00	出雲弥生の森博物館	出雲弥生の森 博物館 25-1841
○	金築秀俊展	10月10日(土) ～11月29日(日) 9:00～17:00	出雲文化伝承館	文化スポーツ課 21-2460
○	ギャラリー展 「出雲のうるし～伝統工芸 の源流を探る～」ギャラリートーク	10月10日(土) 10:00～11:00	出雲弥生の森博物館	出雲弥生の森 博物館 25-1841
	出雲神楽定期公演 2026 ～夕刻のとき、日が沈む聖地 に舞う神話の世界～	10月10日(土) 17:30～18:30	日御碕神社	(一社)出雲観光 協会 31-9466
○	出雲國講座「出雲の神在祭と 万九千神社の歴史と文化」	10月17日(土) 10:00～12:00	万九千神社・立虫神社	市民活動支援課 21-6528
	第17回出雲神在月市民芸 術文化の祭典	10月18日(日) 9:30～15:30	斐川行政センター 多目的棟 フラワーホール	文化スポーツ課 73-9180
	出雲神楽定期公演 2026 ～夕刻のとき、日が沈む聖地 に舞う神話の世界～	10月24日(土) 17:30～18:30	日御碕神社	(一社) 出雲観光協会 31-9466
○	秋季企画展 「龍と龍王ー近世出雲・大津 龍王社の信仰と源流ー」	10月24日(土) 9:00～17:00	出雲弥生の森博物館	出雲弥生の森 博物館 25-1841
	第28回 スサノオごととこいまつり	11月3日(火・祝) 9:20～15:30	佐田行政センター、 スサノオホール及び その周辺	スサノオごととこい まつり実行委員会 84-0113
	伝統工芸体験会	11月7日(土) 14:00～16:00	株式会社 大社木工	商工振興課 21-6541
	出雲ドーム かみあり吹奏楽フェスタ 2026	11月7日(土) 14:00 開演	出雲ドーム	「出雲ドームかみ あり吹奏楽フェス タ」実行委員会 (文化スポーツ課) 21-6514
	出雲平野の築地松ライトアップ	11月7日(土) 18:00～20:00	斐川町福富特設会場 (久木ふれあいプラザ)	建築住宅課 21-6176
	第58回 出雲市無形文化財発表会	11月22日(日) 10:00～16:00	平田文化館 プラタナスホール	文化財課 21-6893

②スポーツ

新規	イベント	とき	ところ	おたずね
	第 38 回 出雲全日本大学 選抜駅伝競走	10 月 12 日(月・祝) 9:10～スタート	出雲大社勢溜 (スタート)～ 出雲ドーム前 (フィニッシュ)	出雲全日本大学 選抜駅伝競走組 織委員会事務局 (文化スポーツ課) 21-2341
	第 48 回 一畑薬師マラソン大会	10 月 25 日(日) 11:00～スタート	一畑薬師周辺	一畑薬師マラソン大 会事務局 090-5761-1921

③各種イベント

新規	イベント	とき	ところ	おたずね
○	トキの生態と生息環境を学 ぶ！出雲の自然満喫バスツア ー～放鳥予定地「稗原」を訪ねる～	10 月 22 日(木) 13:30～16:30	トキ公開施設 野尻町ビオトープ ほか	市民活動支援課 21-6528
	出雲そばと美食の旅	11 月 1 日(日)～ 2 月 28 日(日)	市内	出雲そばと美食 の旅実行委員会 21-6742
	いずも産業未来博 2026	11 月 14 日(土) ～15 日(日) 10:00～16:00	出雲ドーム	いずも産業未来 博実行委員会事 務局 (ミライビジネスイずも) 73-7200

(4) 神在月文化振興月間ロゴマークの掲載

神在月文化振興月間に行われる催しのチラシ、ポスター、パンフレット等
に、下記のロゴマークを掲載しPRします。



～デザインコンセプト～

神在月のはじまりに全国の八百万の神々をお迎
えする神迎えの聖地、稲佐の浜。そこから見える
美しい夕日と夕日に染められ輝く雲をイメージ
しました。

(5) 広報いずもへの掲載

10月号(9月18日発行)に、神在月文化振興月間の特集ページを設け、
市内各地で開催される主な催しを掲載します。

(6) 「お願いどころマップ」及び「神在月 出雲」リーフレットの配布

地域の魅力再発見のために作成した「お願いどころマップ」及び「神在月
出雲」リーフレットを、観光客を中心に広く配布して情報発信を行います。

〔問合せ先〕

縁結び定住課 縁結び・ブランド係 西尾・小野 TEL 0853-21-6771 (内線 2019)

神在祭が執り行われる神社

出雲市内では、出雲大社の他3社で神在祭が執り行われます。万九千神社では、参集された神々が最後にお立ち寄りになり、この地から帰路につかれると言われています。

5 朝山神社 出雲市朝山町1404
TEL.0853-48-0201 (朝山コミュニティセンター)

神在祭 11月9日(月)～11月18日(水)
《旧暦10月1日～10日》



6 日御碕神社 出雲市大社町日御碕455
TEL.0853-54-5261

神在祭 11月19日(木)～11月25日(水)
《旧暦10月11日～17日》



7 万九千神社 出雲市斐川町併川258
TEL.0853-72-9412

神在祭 11月25日(水)～12月4日(金)
《旧暦10月17日～26日》

神等去出祭 12月4日(金)《旧暦10月26日》



日本 出雲 日が沈む聖地 出雲
遺産 神が創り出した地の夕日を巡る

《ストーリー概要》
島根半島西端の海岸線は、出雲神話の舞台となった「稲佐の浜」と「日御碕」の名で親しまれる夕日の絶景地。この場所には全国的に名の知れた「出雲大社」と「日御碕神社」が鎮座していますが、それぞれが「天日隅宮」と「日沉宮」という名を持つ。夕日に縁の深いお社であることはあまり知られていません。古代、大和の北西にある出雲は「日が沈む聖地」として認識され、特に出雲の人々は、夕日を神聖視し、畏敬の念を抱いていたと考えられます。海に沈むこの地の美しい夕日は、日が沈む聖地出雲の祈りの歴史を語り継いでいます。

ご当地情報

ぜんざいの発祥
神在祭のとき、出雲では「神在餅(じんざいもち)」を振舞っていました。「じんざい」が出雲弁で「ずんざい」、さらには「ぜんざい」と訛って、京都に伝わったと言われています。ぜんざい発祥の地が出雲であることは、江戸初期の文献「祇園物語」にも記されています。



竹筒でおもてなし
大社地域では、古くから、毎月1日の早朝に稲佐の浜で竹筒に海水を汲んで清め払う「潮汲み」の風習が行われています。神迎の道では、この竹筒に季節の花を生けて玄関先に飾るおもてなしをしています。

お忌みさん
神在祭の期間、神々の会議を邪魔しないようにと、建築や土木工事、歌舞音楽はもとより、掃除や爪切りまでも遠慮し、忌み慣む風習がありました。そこで、神在祭は、別名「お忌みさん」と言われます。神門通りでも、神迎祭などの時間には、静かにお客様をもてなすお店があります。



出雲の観光情報は
こちらから

詳しい情報は <https://www.city.izumo.shimane.jp/>
出雲市のホームページ 神在月文化振興月間 のバナーをクリック。
〒693-8530 島根県出雲市今市町70 出雲市縁結び定住課
TEL 0853-21-6771
令和八年版



神在月 出雲 島根県出雲市縁結び定住課
TEL 0853-21-6771

「出雲大社 御本殿」
題字は世界的に活躍する
「祈りの書家」金澤翔子さんの書です。

出雲大社の神在祭

神在月の旧暦10月10日の夜、【1 稲佐の浜】には、八百万の神々を迎える御神火が焚かれ、龍蛇神(海蛇)を神々の先導役として神迎えが行われます。
神事が終わると、神籬(大神に細長い幣をつけたもの)に宿られた八百万の神々を、出雲大社へご案内します。
神々は、大社に滞在する7日間、出雲大社境内の東西にある【3 十九社】で宿泊され、【4 上宮(仮宮)】で神議(会議)されると言われています。

令和八年 神在月神事日程

- 《旧暦10月10日の夜》
11月18日(水) 「神迎神事」【於：1 稲佐の浜】
「神迎祭」【於：2 出雲大社】
- 《旧暦10月11日》
11月19日(木) 「神在祭」【於：2 出雲大社】
- 《旧暦10月15日》
11月23日(月) 「献穀祭・神在祭・縁結大祭」
【於：2 出雲大社】
- 《旧暦10月17日》
11月25日(水) 「神在祭・縁結大祭」【於：2 出雲大社】
「神等去出祭」【於：2 出雲大社】
- 《旧暦10月26日》
12月4日(金) 「第二神等去出祭」【於：2 出雲大社】

※神等去出祭とは、神々をお見送りする神事です。一度目は出雲大社から、二度目は出雲の国から神々が出発される際に執り行われます。

1 稲佐の浜

旧暦10月10日、全国からお越しになった八百万の神々を、出雲大社の西にある浜でお迎えます。「国譲り」や「国引き」の神話の舞台となった砂浜は、日本の渚・百選にも選ばれており、夕刻には、日本海に沈む夕日を見に多くの人が訪れます。日本遺産「日が沈む聖地出雲」のストーリーの中でも中心となる場所です。

2 出雲大社

ご祭神は、「因幡(いなば)の白兎」の主人公「だいこくさま」の愛称で知られる大国主大神(おおくにぬしのおおかみ)。平成31年3月には、平成20年から始まった60年に一度の大事業「平成の大遷宮」が完遂しました。

3 十九社(出雲大社境内)

神在祭の期間、全国の神々は出雲大社本殿の東西にある「十九社」にご宿泊されます。神々が滞在される1週間は、このお社のすべての扉が開かれます。

4 上宮(仮宮)

素戔鳴尊(すさのおのみこと)と八百万神がご祭神である出雲大社の摂社。

神在祭の期間中、全国の神々は上宮で、様々なご縁について神議(かむはかり:会議)をされます。



神在月由縁の地



1 稲佐の浜



2 出雲大社(本殿)



3 十九社



4 上宮(仮宮)

5 朝山神社

ご祭神は、真玉著玉之邑日女命(またまつくたまのむらひめのみこと)。清らかな森の空気と清流で心洗われる標高170mの山頂付近に鎮座しています。

全国の神々が出雲に参集された際に、まずこのお社に立ち寄ってから神議をし、出雲大社へ向かわれるという伝承があります。

6 日御碕神社

天照大御神(あまてらすおおみかみ)をご祭神とする「日沉宮」(ひしずみのみや)と、素戔鳴尊(すさのおのみこと)をご祭神とする「神の宮」からなり、両社を総称して日御碕神社といいます。うち14棟と鳥居、石灯籠は国の重要文化財に指定されています。

青い日本海と緑の松林を背景とした「朱の神殿」は、鮮やかさを際立たせ、さながら竜宮城のたたずまいを見せます。

7 万九千神社

櫛御気奴命(くしみけぬのみこと)、大穴牟遲命(おおなむちのみこと)、少彦名命(すくなひこのみこと)の三柱と八百万神がご祭神。

神在月に参集された神々は、出雲路の最後にこの社へ立ち寄り、会議の締めくくりと直会(なおりい)と呼ぶ宴を催したのち、来年の再会を期して各地への帰路に就かれると言います。旧暦10月26日夕刻の神等去出祭には、神々と人々の前途を祓い清める当地独特の湯立神楽も舞い奏でられます。

8 からさで大橋 9 神立橋

参集された神々が全国へお帰りになることを、「神等去出(からさで)」と呼びます。また、神々が神議を締めくくり、直会をして旅立つとされる「万九千神社」の近くでは、「神立(かんだち)」が地名となり、橋名にもなっています。

腰痛が治る？

20 こし お じ ぞう 腰折れ地蔵

出雲市宇那手町168

腰の痛みをはじめ諸々の願いごとにご利益があると言われる三つの石で成り立つお地蔵さん。辺りは、うっそうとした竹林と森に被われているため、静かな胎内に入っていきような幻想に捉われます。腰痛の原因となった普段の生活もじっくり回想するにはやっぱりココでしょう。



今年こそ料理上達

21 か し ま じん じゃ 鹿島神社、 かしわでじん じゃ あと 膳夫神社蹟

出雲市武志町673

鹿島神社のご祭神は、稲佐の浜での国譲りの際、天照大神から遣わされた建御雷神（たけみかづちのかみ）。古事記では、国譲りを決意した大国主大神が、料理の神様「膳夫神（かしわでのかみ）」に命じて饗応なさいました…。この地は、日本で最初におもてなし料理が振る舞われたところといわれています。斐伊川河川敷公園には膳夫神社蹟があります。



22 ほ も り じん じゃ 火守神社

出雲市宇那手町1314

ご祭神は、大国主大神が国譲りをした際、スズキを調理された櫛八玉神（くしやたまのみこと）。境内には太古からの息吹をそのまま感じる摂社があり、「包丁塚」も安置され、地元の出雲調理師会をはじめ県外からも、料理関係者の参拝があります。今年こそは、お刺身を完全マスター！



日の出に願いを込めるなら

23 く な こ じん じゃ 久奈子神社と 栗栖山城址

出雲市古志町2254

伊邪那美命（いざなみのみこと）を主祭神とする久奈子神社境内からは、神戸川下流域一帯の出雲平野、北山山地の眺望がすばらしく、清々しい気持ちになれるおすすめポイント。社殿のすぐ近くに、駐車場がありますが、道幅が狭いので、超スロー運転を。健脚の方は、神社より上に栗栖山城址入口の木標があり、山頂に向かう遊歩道で、日の出にトライ！



24 た ぶ し さん 旅伏山の 都武自神社

出雲市国富町

風の守護神とされる速都牟自和気命（つむじわけのみこと）が主祭神。中国自然遊歩道、旅伏山登山コースを約1時間登ると、山頂のすぐ手前で、拝殿が目飛び込んできます。そこは、風土記の時代、煙火を上げ敵が攻めてくることを知らせた多夫志の峰（たぶしのとぶひ）があったところ。ぐるり360度の大パノラマは圧巻。

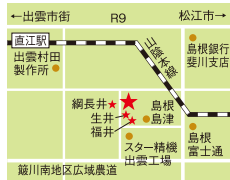


安産祈願

25 み い じん じゃ 御井神社

出雲市斐川町直江2518

因幡の国から大国主大神を尋ねて出雲に来られた八上姫は、この地で産気づかれ、お産のため三つの井戸（生井（いくい）、福井（さくい）、綱長井（つながい））を掘り、御子を産湯させてから木の俣に残し、因幡へ帰られたそうです。この神話がそのまま社名になっており、主祭神はこの時生まれられた木俣神（このまたのかみ）と母神の八上姫神。ご利益も神話のままに安産、母子の発展などだそうです。



26 あ こ じん じゃ 安子神社

出雲市湖陵町常楽寺758

安産と子授けにご利益があるといわれる木華咲耶姫命（このはなさくやひめのみこと）などをご祭神とする神社。毎年4月8日の例祭では、難産だった妊婦が安産になった故事にちなんで「御田植安産神事」が執り行われます。この御神事を拝むと、安産で子宝も授かる伝えられています。



出雲の酒に願う

27 さ か じん じゃ 佐香神社

出雲市小境町108

松尾神社とも呼ばれ、酒の神「松尾」様の名をいただく神社は、全国で京都とこちらの2社のみ。主祭神は、酒造りと、薬の神でもある久斯乃神（くすのかみ）。日本酒発祥にも関る神社は、国税庁から、一石の「どぶろく」醸造を特別に許可されており、酒造関係者が集う例祭で振舞われます。全国八百万の神々をもてなすとされる「出雲」の酒。適量であれば、「酒は、百薬の長」とも、美白効果も言われていますが、一番は、集う皆を「笑顔」にする効果では。



日本全国に幸せを

28 ま ん く せん じん じゃ 万九千神社

出雲市斐川町併川258

櫛御気奴命（くしみけぬのみこと）、大穴牟遲命（おおなむちのみこと）、少彦名命（すくなひこなのみこと）の三柱と八百万神がご祭神。立虫神社（たちむしじんじゃ）の境内社です。神在月には、全国八百万の神々が、出雲大社から、最後にここに立寄って神議を締めくくり、別れの実である直会（なおらい）を催した後、再会を期して全国へお立ちになります。きっと出雲でのお話をもとに日本全国に幸せを届けられることでしょう。



番外編

「想い」を届ける「ご縁」スポット ご縁ポスト



普段言えない想いを綴り、「ご縁ポスト」から、大切な人、家族・友達へ「想い」を届けてみませんか？



大好き☆出雲！

お願 ㇿ ど ころ マ ッ プ

～山ほどのお陰を、出雲の地から～

出雲大社では「平成の大遷宮」が行われ、甍った社殿に多くの参拝の方々をお迎えしています。

旧暦十月の「神在月」に、全国から八百万（やおよろず）の神々をお迎えする出雲。この時、あらゆるご縁について神議（かむはかり）が行われ、全国へご縁が届けられます。

ぜひとも、出雲でお参りの際には、ご自分のお願いのほかに日本中の方々の「幸せ」も願っていただきたいと思います。

何と言っても、山陰の出雲は、「山」ほどたくさんのお「陰」がある、

もくもくと「雲出」ずるところ。
出雲大社への参拝も、「し・あ・わ・せ」と4回拍手するのですから。

日本遺産

日が沈む聖地 出雲

～神が創り出した地の夕日を巡る～

島根半島西端の海岸線は、出雲神話の舞台となった「稲佐（いなさ）の浜」と「日御碕（ひのみさき）」の名で親しまれる夕日の絶景地。この場所には全国的に名の知れた「出雲大社」と「日御碕神社」が鎮座していますが、それぞれが「天日隅宮（あめのひすみのみや）」と「日沉宮（ひしづみのみや）」という名を持つ、夕日に縁の深いお社であることはあまり知られていません。古代、大和の北西にある出雲は「日が沈む聖地」として認識され、特に出雲の人々は、夕日を神聖視し、畏敬の念を抱いていたと考えられます。海に沈むこの地の美しい夕日は、日が沈む聖地出雲の祈りの歴史を語り継いでいます。



こんなお願いが 叶うかも！？

- … みんなよくご存知のお願いどころ
- … 夕日に願いを込めるなら
- … 平穏をもたらす！
- … 縁結び・夫婦円満
- … スポーツ上達
- … 「富」を引き寄せるには！
- … 心の鬼も退治
- … 歌舞音曲などの上達
- … 地域防災の思いに触れる！
- … 美しくなれる！
- … 腰痛が治る？
- … 今年こそ料理上達
- … 日の出に願いを込めるなら
- … 安産祈願
- … 出雲の酒に願う
- … 日本全国に幸せを

詳細はこちら！



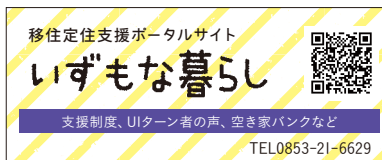
■お問い合わせは

〒693-8530 島根県出雲市今市町70 TEL0853-21-6771
出雲市縁結び定住課 FAX0853-21-6599



ふるさと納税で出雲市を応援してください！

TEL0853-21-6274



移住定住支援ポータルサイト
いずもな暮らし

支援制度、Uターン者の声、空き家バンクなど

TEL0853-21-6629

おすすめ！ 出雲の お願いどころ

神々が集まる出雲には
お願いどころがたくさん！
あなたのお願い事は
どんなこと？



お願い *紹介させていただいた「お願いどころ」は、出雲市内の一部です。
*「お願いどころ」によっては、進入の道幅が狭いなど駐車スペースが限られているところもありますので、交通マナーを守って、良識のある行動をお願いいたします。
*地図情報（道路や建物）は、令和7年9月時点のものです。

みんなよくご存知のお願いどころ

01 いづも おおやしろ 出雲大社 出雲市大社町杵築東195

ご祭神は「因幡（いなば）の白兔」の主人公“だいこ様”の愛称で知られる「大国主大神（おおくにぬしのおおかみ）」。「旧暦10月の神在月に全国から八百万（やおよろず）の神々をお迎えし、様々なご縁組みなどの会議が執り行われるそうです。たくさんの方の、幸せのご縁がありますように…」。



02 ひのみさき じんじゃ 日御碕神社 出雲市大社町日御碕455

天照大御神（あまてらすおおみかみ）と素戔鳴尊（すさのおのみこと）の二大神がご祭神。近くには、ウミネコの繁殖地として知られる島全体が神域の経島（ふみしま）があり、日本海に沈む夕日のビューポイント。海底遺跡があるという逸話も。立っているだけで願いごとが叶いそう！



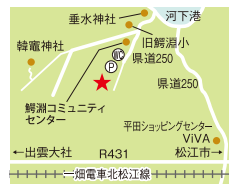
03 すさ じんじゃ 須佐神社 出雲市佐田町須佐730

ヤマタノオロチを退治した出雲神話のヒーロー、須佐之男命（すさのおのみこと）がご祭神。須佐川のせせらぎとご本殿の間にそびえ立つ大杉さんを眺めていると、願いごとがスーッと天にも届くような気持ちになります。



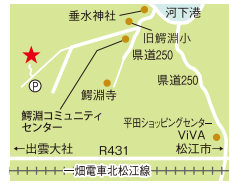
04 がくえん じ 鰐淵寺 出雲市別所町148

天台宗の古刹、鰐淵寺は、あの武蔵坊弁慶が若き日に修行したところと言われています。見事な自然が残る境内、根本堂にいたる石段や滝の真ん中にそびえる蔵王堂。すっぱりと時空を超える景観に包まれ、思わず願いごとさえ忘れそうな、折りの地でもあります。



05 からかま じんじゃ 韓竈神社 出雲市唐川町408

ご祭神の素戔鳴命（すさのおのみこと）が、岩船に乗って、新羅（しらぎ）から「鉄器文化」や「植林法」を伝えたとする神話が残る地。鳥居の随分手前から、未舗装の道を通り、険しい参道を登り、さらに隙間約45cmの大岩の間を抜けた先に本殿があります。これだけの思いをしてお参りするのだから、きっと願いは叶うはず。思いがノートに記されています。



06 いちばた やくし 一畑薬師 出雲市小境町803

目のお薬師さんとして知られる一畑薬師。二歳児詣りなど、子どもたちの無事成長のお願いどころとしても有名。体力に自信のある方は、ふもとの山門入り口の石段から、お参りされることをお勧めします。薬師本堂から見下ろす穴道湖と北山の見事な景色にじっと目を凝らすだけで目がよくなりそう。



夕日に願いを込めるなら

07 いな さ はま 稲佐の浜 出雲市大社町杵築北

神話「国譲り」の舞台として有名なこの浜は、神在月（旧暦10月）の神迎神事（かみむかえしんじ）の地。冬にはとても荒々しい姿を見せる日本海に向かって、美しい夕日の太陽エネルギーとミネラルいっぱいの潮風エネルギーを浴び、どんどん元気が湧いてくる…パワースポットともいわれています。



08 つきよみ しゃ 月読社 出雲市大社町日御碕

日御碕を見下ろす推恵山の頂上に鎮座する月読社。日本書紀によると、ご祭神である月読命（つくよみのみこと）は思い込みから食の神うけもちのかみを殺めてしまい、姉神あまてらすの不興を買い、夜のみを司る役目を担うことになったと伝えられています。夏至の日、出雲大社から見ると夕日がちょうど日御碕神社の真上に沈みゆき、月読社は、その線上に鎮座しています。



平穏をもたらす！

09 いなせ はぎ じんじゃ 伊奈西波岐神社 出雲市大社町鷺浦102

出雲国造の祖神、天穂日命（あめのほひのみこと）の子、稲背屋命（いなせはぎのみこと）がご祭神。稲佐の浜での「国譲り」に際し、大国主大神の命を受け、御子神の事代主神（ことしろぬしのかみ）の意見を聞きに美保関まで奔走された神です。「通信」の始まりと言われるこの使いにより、国譲りは平和に解決しました。天然痘の守護神としても広く崇拝されてきた命は、穏やかで素敵な港町「鷺浦」に祭られています。



縁結び・夫婦円満

10 う み じんじゃ 宇美神社 出雲市平田町宮ノ町688-1

宇美神社本殿に祀られている事解男命（ことさかのおのみこと）は、「コトサカ＝関係を裂く」を表し、絶縁と浄化を象徴する神様です。男女関係、病気、悪癖、悪いしがらみなどを切り、浄化に導くといわれています。お詣りの仕方は、拝殿にて縁切り祈願をし、本殿裏を時計回りに回り、境内にある「縁結神社」で新たな良縁を授かるのと良いとされています。



えんむすび じんじゃ 縁結神社（宇美神社内）

ご祭神は、伊弉諾尊（いざなぎのみこと）と伊弉冉尊（いざなみのみこと）。本綿街道沿いの宇美神社（うみじんじゃ）の境内に合祀された神社で、「縁結」の名がつく神社は「出雲」でもここだけのこと。良質の「平田木綿」を集め栄えた地で、あなたの願いを紡いだ糸が、しっかりご縁に結ばれますように。ハート型の絵馬に託してみては。

11 なめ さ じんじゃ 那奈佐神社 出雲市東神西町720

主祭神は大国主大神の別名、葦原醜男命（あしはらのしのおのみこと）と須佐之男命の御子、須勢理姫命（すせりひめのみこと）。出雲国風土記によると、ご祭神ご夫婦が仲睦まじく岩坪の宮殿でお暮しになっていたある日、宮前の溪流が岩苔の上をなめらかに流れているのをご覧になり、「滑（なめ）し盤石（いわ）なるかも」と仰せられたことから、「なめしいわ」が「なめさ」となり、この地を滑狭郷（なめさのさと）というようになったといわれています。また、近くにある「岩坪」は、須勢理姫命の誕生時にこの水を産湯として使ったとの伝承があります。伴侶とのご縁を求める方や夫婦の絆を深めたい方におすすめ。



12 はなくら じ こんせいどう 華蔵寺・金勢堂など 出雲市多伎町久村908

8世紀頃に行基（ぎょうき）が開祖したと伝えられる天台宗の古刹。境内を歩くと、縁結び・夫婦円満にご利益があると伝えられる金勢堂（こんせいどう）や、さらに小道を進むと池の中の小島に弁天堂（べんでんどう）が現れます。ご夫婦、カップルでの境内散策は、いつの間にか肩寄り添って…。



スポーツ上達

13 なが はま じんじゃ 長浜神社 出雲市西園町上長浜4258

出雲国風土記の冒頭を飾る「国引き神話」の主人公、八束水臣津野命（やつかみずおみつぬのみこと）がご祭神。海の向こうの土地に綱をかけて引き寄せ、出雲の国づくりをされた…ということで、綱引きの祖とも言われています。スポーツ上達のお願いは、綱引きの発祥の地でお願ひするのが一番。



「富」を引き寄せるには！

14 とび じん じゃ 富神社 出雲市斐川町富村596

八束水臣津野命を祭る、その名も「富」神社。神社がある斐川町富村（とびむら）は、「十二郷七浦」と呼ばれ、出雲大社領とされた地域。神名火山（かんなびやま）から眺めて「国引き」を思い立ち、その大仕事により「富」をもたらした命が、鎮座の地にお選びになった「富」の地。「富」は自らの力で引き寄せるもの？



心の患も退治

15 たべ じん じゃ 多倍神社 出雲市佐田町反邊1064

須佐之男命がご祭神。オロチではなく、鬼退治伝承のあるお宮です。社殿は、退治した鬼の首を埋めて大岩（首首）で蓋をした上に建てたと伝えられています。近くの目田森林公園には「鬼のこしかけ岩」と呼ばれる巨岩もあります。心の鬼に負けそうになったら…ぜひお出かけください。出雲の鬼退治フィールドへ。



歌舞音曲などの上達

16 ほうのうざん おくにとう 奉納山・於國塔、出雲阿国の墓 出雲市大社町杵築北

歌舞伎の始祖「出雲阿国」は、出雲大社の巫女であったといわれ、晩年はこの地で暮らし生涯を終えたと伝えられています。昭和11年、大社湾が一望できる奉納山の中腹に、阿国を顕彰する石塔が建てられ、それを囲む石柵に歌舞伎役者や当代一流の芸能人の名前が刻まれました。以来、知る人ぞ知る、芸能など上達のお願いどころとなっています。



地域防災の思いに触れる！

17 あたごさん しょうほう じん じゃ 愛宕山の消防神社 出雲市平田町

火災鎮護の神「愛宕権現（あたごこんげん）」（秋葉権現）を祭った、その名も「消防神社」。平田城址に整備された「愛宕山公園」内にあり、毛利・尼子の激しい戦火を経て建てられた防火守護神の堂宇を、旧平田町消防組が、町などの協力を得て再建したもの（昭和11年7月6日遷座祭）。毎年消防団が祭主となって、市内の無火事と市民の安全を祈願します。平田の街が一望できる地に、強い思いで再建された、そんな神社もあるのです。



美しくなれる！

18 いわね じ 岩根寺 出雲市朝山町

昔、ある夫婦が岩根寺へ祈願して玉のような女の子を授かりました。歳月は流れ、時の帝（光仁天皇770～780年）は、夢で“出雲の国に美しく賢い娘がいる。この絵と靴を持って行って、引き合わせなみよ”とのお告げを受け、出雲への使者をたてました。そこで、田植えをしている親孝行の娘が、絵とそっくりで美しく、靴もちょうど足に合ったので、召されて天皇の后（吉祥姫）となりました。出雲版シンデレラ物語！



19 ゆ かわ おんせん やかみひめ じん じゃ 湯の川温泉、八上姫神社 出雲市斐川町学園1329-1

大国主大神と恋に落ちた因幡の国の八上姫（やかみひめ）は、出雲の国に帰られた命を慕って、はるばる旅に出られました。途中、岩の間からこんこんと湧き出る湯の川を見つけ、旅の疲れを温泉でいやすれ、心身共に元氣になり、いっそう美しい神になられたそうです。今だったら、まずは道の駅「湯の川」で足湯を楽しんでから…ってところでしょうか。

